

7/22 木

## 搬送困難 週4000件超

総務省消防庁は20日、救急搬送の搬送先がすぐに決まらない

「救急搬送困難事案」

が11～17日の1週間で前週比1252件増の41339件に上ったと発表しました。4000件を超えたのは今年3月の第2週以来約4カ月ぶり。このうち新型コロナウイルスに感染した疑いがあるケースは1598件で、同743件増えました。

搬送困難事案の増加

は、新型コロナのうち、感染力が強いオミクロン株の派生型「B.1.5」の急拡大に加え、熱中症による搬送事案が増えていたことが原因とみられます。

消防庁は、政令市や県市所在地など全国52カ所の消防本部を対象に調査。4カ所以上の医療機関に搬送を照会し、救急隊が現場に到着してから搬送開始までに30分以上かかったケースを困難事案と定義しています。医療機関への搬送ができなかった事案はありません。